6月は土砂災害防止月間

生命を守るための備え

問合せ　危機管理課☎33-4112

梅雨入りを迎えるにあたり、集中豪雨などによる洪水や土砂崩れなどの災害が予想されます。
災害時には「自分の身は自分で守る」が大原則です。「いざ」というときに備えましょう。

事前の備えが生命を守るカギ

大雨・洪水などの警報や防災情報に注意

梅雨期や台風が接近している時などは、大雨・洪水警報や土砂災害警戒情報、河川水位情報に注意しましょう。

テレビやラジオ、インターネットなどでこまめに防災情報を収集しましょう。

市の緊急情報配信メールなどをぜひ、登録してください。

避難場所と避難経路の確認

地域の避難所や安全な避難経路を確認し、家族の集合場所や安否確認の方法も決めておきましょう。

備蓄品（非常持出品）の準備をしましょう

災害直後からの混乱が治まるまでの数日間、生活するためには備蓄品や非常持出品の準備が必要です。非常持出品については、必要なものや量はそれぞれ異なりますので、個人に合わせた準備を行いましょう。

防災意識を高めましょう

災害発生時には、防災関係機関の職員も被災し、直ちに対処することが困難となる恐れがあります。このため、市民一人一人が、「自分の住む地域は自分で守る」との当事者意識を持ち、災害に関する正しい知識や災害予防・災害応急措置など防災意識を持つことが重要です。

また、自分たちの暮らしている地域がどのような災害リスクを有しているかを認識し、自主防災組織や町内会などで地域の実情に合わせた防災訓練を実施し、災害から身を守るための行動を身につけておきましょう。

※日頃から地域での四季の行事や活動などを通じて、コミュニケーションを図り、協力しあう関係を築くことも大切です。

効率的な備蓄方法

ローリングストック法

非常食は、最低３日分の確保が必要といわれていますが、消費期限があるため、購入と廃棄を繰り返すことが多くなりがちです。

そこでおすすめなのが、「ローリングストック法」です。日にちを決めて、定期的にレトルト食品などを消費し、その分をあらためて補充する方法です。

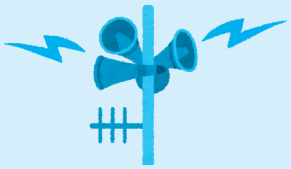
防災情報の収集方法

▼市ホームページ

http://www.city.yatsushiro.lg.jp/
①防災サイトを選択

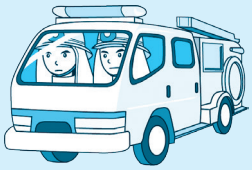
▼防災行政無線

再度、放送内容を確認する場合は「防災行政無線電話応答サービス」をご利用ください。
フリーダイヤル　0800-200-3348
※本庁放送分のみの対応です。



▼広報車両

市や消防署の広報車両で注意を呼びかけます。
例：「台風が接近しています。
○○○○してください」



▼緊急情報配信メールサービス

①携帯電話やスマートフォン・パソコンからメールアドレスを入力し空メールを送る。
alreg@ns2.yatsushiro.org
②仮登録のお知らせ
→　http://・・・を選択しアクセス
③登録完了のお知らせ
→ http://・・・を選択しアクセス
④ 配信サービスの情報（火災・地震・気象・台風等）にチェックを入れて設定を選択
※インターネットからのメールを受信拒否していると、メールが届きません。
alert@ns2.yatsushiro.org
を受信可能な状態に設定してください。

ＱＲコードから登録

▼ＲＫＫ（3チャンネル）デタポン

テレビのリモコン操作で、
①データ放送ｄボタンを押す
②デタポンを選択
③青ボタンを押して八代市を選択
④防災情報を選択

私の防災術

森崎正勝さん（東陽町）

私の自宅は裏山に面しているため、土砂災害には十分気をつけています。
雨が降り続いているときは、「いざ」というときに備えて、被害が少なくなるように家の周りを確認するようにしています。
また、スムーズに避難できるように、玄関の近くに貴重品をまとめておくなどの準備を心がけています。

私は女性消防隊に所属しているので、勉強になることが多くあります。災害はいつ発生するかわからないので、ニュースなどで情報が発信されたときは、正しい判断ができるように自分自身が落ち着き、まず、家族を安心させることを一番に考えています。
また、家の中で一番安全な場所を家族全員で確認し合っています。

古田順子さん（鏡町）